

授業概要

本講義では、乳幼児の発達について、感覚知覚、運動、言語と思考、認知、情緒、欲求、対人関係、自己などの観点からその基本的内容について講義形式にて紹介する。また、必要に応じて簡単な作業やグループワーク、各回を受講者から提出される小レポートの内容を取り入れながら、乳幼児と彼らを取り巻く環境に関する理解を深める。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	乳幼児心理学とは？
第 3 回	からだと運動の発達
第 4 回	知覚の発達
第 5 回	思考と認知の発達
第 6 回	言葉とコミュニケーション・学習の発達
第 7 回	情緒と欲求の発達
第 8 回	人間関係の発達
第 9 回	道徳性と向社会性の発達
第 10 回	遊びの発達とメディアの影響
第 11 回	自己の発達
第 12 回	子どもの発達における家族の影響
第 13 回	発達をつまずき①
第 14 回	発達をつまずき②
第 15 回	まとめ
第 16 回	期末試験

※受講者の興味関心や進度に応じて一部変更を行う場合がある。

到達目標

- ①乳幼児の発達に関する基本的な内容（感覚知覚、運動、言語と思考、認知、情緒、欲求、対人関係、自己など）について理解する。
- ②乳幼児自身と彼らに関わる様々な人々（家族や保育者、援助者など）を取り巻く社会状況と彼らが抱える困難を理解し、関わりや援助の方法について理解する。

履修上の注意

- ・本講義受講にあたっては、「心理学概論Ⅰ」ならびに「心理学概論Ⅱ」を受講済みであることが望ましい。
- ・大幅な遅刻・早退、その他受講態度に問題がある者は出席とみなさず、退室を求める。
（講義中に配布する小レポート用紙を受け取り、これを講義終了時に提出すること。）
- ・本講義に関連して、心理学に関する調査や実験の協力を依頼する可能性がある。
- ・その他の注意事項について初回の授業時に伝えるため、**初回授業には必ず出席すること。**
- ・本科目は子ども発達学科開講の「幼児心理学」とは別の科目である。
（故に、子ども発達学科の選択必修科目として本科目を履修することはできない。）

予習・復習

【予習】受講済みである他の心理学関連の講義の内容を振り返っておくこと。

【復習】自身の家族や地域で乳幼児及びその家族と関わることを想定しながら、

乳幼児の発達および援助の方法について本講義で学んだことを活用できるように準備すること。

評価方法

講義各回で提出を求める小レポート(約 30%)と期末試験(約 70%)に基づいて評価を行う。

※小レポートと定期試験の成績にかかわらず、出席回数が 3 分の 2 を満たない者の単位認定は行わない。

テキスト

- ・テキストは指定しない。講義は各回講義時に配布する資料を用いて行われる。
- ・その他参考書については、講義中に適宜紹介する。